

持続可能社会創成学環（修士課程）

Graduate School of Sustainability Studies



設置の趣旨・必要性

- 「**地域**」と「**地球規模**」の両方の視点を持ち、「持続可能社会」の実現のために高度な知識・技能（語学とデータ分析）を駆使して課題解決ができる高度人材の必要性
- 人口減少超高齢化、デジタルサイエンスの発展という時代背景のもと、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society 5.0)の実現に貢献する高度な専門性をもった人材の育成の必要性

養成する人材像

持続可能な社会の構築に必要な理工学及び社会科学の学際的な理論及び学際的応用を教授研究し、その深奥を学び、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識、卓越した能力及び倫理観を培い、持続可能社会の構築に貢献する人材を育成

社会データサイエンスプログラム 【修士(学術)】

現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことで地域の課題発見・解決を行うとともに、そこから新しい価値を創造して地域活性化やSDGs達成に貢献する高度専門職業人を育成

グローバルSDGsプログラム 【修士(サステイナビリティ学)】

持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力とグローバルに活躍するための基礎となる英語力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができる人材を育成

持続可能社会創成学環の特色

1. 「地域」と「地球規模」の両方の視点からの「持続可能社会の実現」

- 主に「**地域**」に着目して、データサイエンスや人工知能で課題解決を目指す「社会データサイエンスプログラム」と、「**国際的**」な広い視点から課題解決を目指す「グローバルSDGsプログラム」を設置
- 「**地域**」と「**地球規模**」の両方の観点から持続可能社会の構築に貢献できる人材を育成
- 特に「グローバルSDGsプログラム」は、**英語のみで修了できるカリキュラム**を編成

2. 持続可能社会の実現に必要な専門的知識を分野横断的に学修

- 持続可能社会に関する幅広い知識や実践力を学修する**学環共通科目**を設定
- 研究分野の異なる様々な教員の参加によるオムニバス形式の授業を通じ、持続可能社会の実現に必要な専門的知識を**分野横断的**に学修

3. 文系・理系の枠を超えた分野融合教育の展開

- 人文社会芸術総合研究科と理工学研究科が連携して教育プログラムを提供
- 社会科学と自然科学を融合した**分野横断的なアプローチによって問題解決能力を養う
- 俯瞰的な観点から問題の本質を理解する力を身に付けることができる課題解決型の学際的な学修が可能



持続可能社会
分野横断的課題解決

